

統合医療に関する心理および生理学的な評価法に関する研究（2025 年 3 月まで）

原著論文 18 件、査読無論文 10 件、国際学会発表 12 件、国内学会発表 33 件、本・一般雑誌 1 件

【原著論文】

1. 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 烏帽子田彰, 横山茂弘, 内田誠也, 山岡淳. 20 項目版 SKY 式精神尺度の信頼性および妥当性の検討. MOA 健康科学センター研究報告集. 23, 3-13. 2019
2. 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 烏帽子田彰, 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳. 社会経済的要因およびライフスタイルは、「人生・生活の質」およびスピリチュアルな態度に関連する一地域住民を対象にした横断的調査の結果より一. MOA 健康科学センター研究報告集. 21, 3-16. 2017
3. 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 鈴木直人, 牧美輝, 烏帽子田彰, 内田誠也, 山岡淳. 大学生および社会人における抑うつ症状とスピリチュアリティな態度との関連. MOA 健康科学センター研究報告集. 20, 3-14. 2016
4. Kimura T, Sakuma T, Isaka H, Uchida S, Yamaoka K. Depressive symptoms and spiritual wellbeing in Japanese university students. International Journal of Culture and Mental Health 2016. 9(1), 14-30. 2016
5. Kimura T, Tsuda Y, Uchida S, Eboshida A, Yamaoka K. Validity of computer-assisted health assessment using visual analogue scales and face scales: A comparison between younger and older participants. Japanese Journal of Applied Psychology. 38, 101-108. 2012
6. 木村友昭, 鈴木清志, 森岡尚夫, 伊波剛彦, 田中千枝子, 牧 美輝. 大規模健康調査のための QOL 尺度開発とその妥当性の検証. MOA 健康科学センター研究報告集. 13, 73-84. 2009
7. Kimura T, Tsuda Y, Uchida S, Eboshida A. Association of perceived stress and stiff neck/shoulder with health status: multiple regression models by gender. Hiroshima J. Med. Sci. 55(4), 101-107. 2006
8. 白水重憲, 菅野久信. 指尖容積脈波の波形解析 (1) 現象論的方法の比較. MOA 健康科学センター研究報告集. 8, 61-69. 1999
9. 白水重憲, 菅野久信. 指尖容積脈波の波形解析 (2) システム同定から波形モデリングへの道程. MOA 健康科学センター研究報告集. 8, 71-75. 1999
10. 白水重憲, 菅野久信, 前田竜雄, 佐伯俊英. 上腕動脈のコンプライアンス測定装置の開発. MOA 健康科学センター研究報告集. 8, 77-83. 1999
11. 柳川 勉, 坂口弘征, 上野正博, 新田和男. 植物の生体機能維持力と生物フォトン観測. MOA 健康科学センター研究報告集. 8, 85-92. 1999
12. 柳川 勉, 坂口弘征, 上野正博, 新田和男. 人体の生物フォトン観測と岡田式療病術. MOA 健康科学センター研究報告集. 8, 93-101. 1999
13. 白水鋭子, 白水重憲, 津田康民, 菅野久信. 指尖容積脈波からの循環器系のパラメータの抽出 I 指尖容積脈波の波形解析. MOA 健康科学センター研究報告集. 6, 69-82. 1997
14. 白水重憲, 津田康民, 白水鋭子, 菅野久信. 上腕動脈圧脈波よりの血管コンプライアンス推定とカオス解析. MOA 健康科学センター研究報告集. 6, 83-90. 1997
15. 白水重憲, 津田康民, 白水鋭子, 菅野久信. 人間発生乱数の相関次元. MOA 健康科学センター研究報告集. 6, 91-98. 1997
16. Uchida S, Kuramoto I, Sugano H. Studies of healing effects using the Kirlian photography. Journal of International Society of Life Information Science. 14(2), 153-161. 1996
17. 柳川 勉, 上野正博, 新田和男. コロナ放電写真に関する研究. MEDICAL IMAGING TECHNOLOGY .

13(1), 67-73. 1995

18. 菅野久信, 内田誠也, 蔵本逸雄, 板敷貴之. キルリアン写真の心理生理学的研究への応用. MOA 健康科学センター研究報告集. 2, 167-178. 1994

【論文査読無】

1. 加藤孝太郎, 宮島一将, 戸内愛希子, 大坪誠治, 園田純子, 園田俊郎, 牧美輝. 腸内細菌叢解析のための糞便サンプルからの DNA 抽出法の比較. MOA 健康科学センター研究報告集. 28, 47-55. 2025
2. 木村友昭, 堀島由利, 烏帽子田彰. 高齢者の認知機能における各種評価方法の比較検討-広島の通所介護事業所における調査結果より-. MOA 健康科学センター研究報告集. 26, 3-13. 2023
3. 内田誠也, 田中英明, 小菅豊弘, 柴維彦. 食事・運動・休養習慣調査票 (チャレンジシート) の妥当性の検討. MOA 健康科学センター研究報告集. 26, 15-27. 2023
4. 内田誠也, 岡田雄太, 山岡淳. 2 種類の圧入式筋硬度計の比較検討. MOA 健康科学センター研究報告集. 21, 43-50. 2017
5. 木村友昭, 津田康民, 内田誠也, 岩橋成寿, 烏帽子田 彰, 山岡 淳. 日本語版自覚ストレス調査票の短縮版作成のための検討. MOA 健康科学センター研究報告集. 12, 21-25. 2009
6. Uchida S, Tsuda Y, Sugano H, Nitta K. Thermal distribution quantity in the human dorsum. Journal of International Society of Life Information Science. 23(1), 60-64. 2005
7. Uchida S, Tsuda Y Suzuki K, Sugano H, Nitta K. Quantity of thermal imaging in human dorsum 2. Journal of International Society of Life Information Science. 23(2), 326-334. 2005
8. Tsuda Y, Uchida Seiya, Kuramoto I, Sugano H, Nitta K. An examination for measuring the softness of human shoulders(1). Journal of International Society of Life Information Science. 23(2), 335-336. 2005
9. Tsuda Y, Uchida S, Nitta K, Otsubo S, Maki Y. Measuring the effect of MOA purifying therapy(1) - Quantification of fever, stiffness and pain- . Journal of International Society of Life Information Science. 21(2), 349-353. 2003
10. Yanagawa T, Sakaguchi H, Ueno M. Sustaining faculty of living functions and its biophoton observation. Journal of International Society of Life Information Science. 18(2), 423-447. 2000

【国際学会発表】

1. Kimura T, Sakuma T, Isaka H, Uchida S, Yamaoka K, Eboshida A. Comparing generic quality of life and spiritual attitudes in Japanese smokers and non-smokers. ISOQOL 22th Annual Conference (Copenhagen). 2016
2. Kimura T, Hayashida R, Kobayashi M, Maki Y, Okada Y, Uchida S, Yamaoka Y. Assessing quality of life in 5-6year old children using illustrations shown on a tablet computer. ISOQOL 21th Annual Conference (Berlin). 2015
3. Tanaka H, Kimura T. Predictors of quality of life and perceived stress among people with chronic illness. ISOQOL 20th Annual Conference (Miami), 2013
4. Kimura T, Matsuo H, Iida N, Maki Y, Nitta K, Uchida S, Tsuda Y, Sakaguchi H, Yamaoka K, Suzuki K. Somatic and psychological complaints and quality of life in Japanese outpatients. ISOQOL 18th Annual Conference (Denver), 85. 2011
5. Kimura T, Matsuo H, Iida N, Maki Y, Nitta K, Uchida S, Tsuda Y, Sakaguchi H, Yamaoka K, Suzuki K. Effects of complementary health practices on perceived stress and quality of life in Japanese outpatients. ISOQOL 19th Annual Conference, 125. 2010

6. Kimura,T, Tsuda,Y, Uchida,S, Eboshida,A, Yamaoka,K.. validity of computer-assisted health assessment of elderly adults using visual analogue scales and face scales. 27th International Congress of Applied Psychology, 1653. 2010
7. Kimura T, Suzuki K, Morioka H, Iha T, Tanaka C, Maki Y. Validity of the 10-item MOA quality of life questionnaire: A new brief instrument for health surveys. Quality of Life Research 16th, 57. 2009
8. Kimura T, Tsuda Y, Uchida S, Yamaoka K. Computer-assisted measurement of quality of life: visual analogue scale, face scale, and the 8-item short form health survey (SF-8) Japanese version. ISOQOL 15th Annual Conference (Montevideo), A93. 2008
9. Kimura T, Araki Y, Hayashida K, Eboshida A. Subjective health status using visual analogue scale among elderly Japanese. ISOQOL 13th Annual Conference (Lisbon), A71-A72. 2006
10. Kimura T, Tsuda Y, Uchida S, Eboshida A. Perceived stress and stiff shoulder predict health status: multiple regression models by gender. ISOQOL 12th Annual Conference (San Francisco), 2073. 2005
11. Yanagawa T, Sakaguchi H, Ueno M, Nitta K. Warm moxibustion and inner energy evaluation of living bodies using biophoton. WCA 2000, 122-123. 2000
12. Kuramoto I, Tsuda Y, Shirouzu S, Sugano H, Ikeda M, Mori K. Study on Objetification of Diagnosis by Feeling the Pulse. WCA 2000, 173. 2000

【国内学会発表】

1. 片瀬愛, 内田誠也, 片村宏. 肩の筋硬度計を用いたヨーガの効果. 第 27 回日本統合医療学会学術大会, 248. 2023
2. 内田誠也, 田中英明, 柴維彦. 心身のストレス状態およびライフスタイルの総合評価の開発. 第 27 回日本統合医療学会学術大会, 237. 2023
3. 内田誠也, 田中英明. 食事・運動・休養習慣質問紙(チャレンジシート)の評価値の妥当性の検討. 第 26 回日本統合医療学術大会, 195. 2022
4. 内田誠也, 山岡淳. 肩こりと首尾一貫感覚の関係. 生理心理学と精神生理学. 39(2), 150. 2021
5. 内田誠也, 山岡淳. 筋硬度を用いた肩こり弛緩の評価. 生理心理学と精神生理学. 38(2), 106. 2020
6. 木村友昭,伊坂裕子,内田誠也,山岡淳. 20 項目版 SKY 式精神性尺度の信頼性および妥当性の検討ーソーシャル・キャピタルとの関連に着目してー. 日本応用心理学会第 86 回大会発表論文集, 96. 2019
7. 内田誠也, 山岡淳. 肩の筋肉の緊張・弛緩における 2 種類の筋硬度計の比較検討. 生理心理学と精神生理学. 37(2), 107. 2019
8. 木村友昭, 伊坂裕子, 内田誠也, 山岡淳. 障がい児の行動とその保護者のスピリチュアルな態度ー自閉症スペクトラム症や脳性麻痺などの障がい児に対するフォローアップ調査ー. 日本応用心理学会 第 85 回大会, 37. 2018
9. 内田誠也, 木村友昭, 山岡淳, 松本洸. 日芸版「癒し」評価スケールの一致度の検討. 第 84 回日本応用心理学会, 66. 2017
10. 伊坂裕子, 木村友昭, 内田誠也, 山岡淳. 大学生における人生の意味の探求とスピリチュアルな態度の関連. 第 84 回日本応用心理学会, 62. 2017
11. 木村友昭, 烏帽子田彰. ソーシャル・キャピタルと生活の質 (QOL)、およびスピリチュアルな態度との関連. 第 25 回日本健康教育学会学術大会講演集. 24, 102. 2016
12. 木村友昭, 内田誠也, 伊坂裕子, 烏帽子田彰, 山岡淳. 地域住民におけるスピリチュアルな態度の評価. 日本応用心理学会第 81 回大会, 39. 2014
13. 伊坂裕子, 木村友昭, 内田誠也, 山岡淳. 大学生におけるスピリチュアルな態度と自動思考および自己超越

性との関連. 日本応用心理学会第 81 回大会, 40. 2014

14. 木村友昭, 烏帽子田 彰. 福島県と地域住民における生活の質 (QOL) と精神性との関連. 第 73 回日本公衆衛生学会, 483. 2014
 15. 木村友昭, 烏帽子田 彰. 地域住民におけるスピリチュアルな態度の評価-評価尺度の信頼性、妥当性の検証-. 第 23 回日本健康教育学会, 100. 2014
 16. 木村友昭, 烏帽子田 彰. 静岡県と地域住民における生活の質 (QOL) と精神性との関連. 第 72 回日本公衆衛生学会総会 (三重), 467. 2013
 17. 木村友昭, 佐久間哲也, 内田誠也, 伊坂裕子, 烏帽子田 彰, 山岡 淳. 社会人におけるスピリチュアルな態度の評価 -大学生サンプルとの比較-. 日本応用心理学会 第 80 回記念大会発表論文集, 155. 2013
 18. 木村友昭, 佐久間哲也, 伊坂裕子, 山岡淳. 78. 大学生におけるスピリチュアルな態度の評価 (1)
 19. - 概念の検討と尺度の開発 -. 日本応用心理学会第 79 回大会, 45. 2012
 20. 伊坂裕子, 木村友昭, 佐久間哲也, 山岡淳. 79. 大学生におけるスピリチュアルな態度の評価 (2)- 東日本大震災との関連 -. 日本応用心理学会第 79 回大会, 46. 2012
 21. 木村友昭, 伊坂裕子. QOL とスピリチュアリティの評価法. 日本応用心理学会 第 78 回大会, 16. 2011
 22. 内田誠也, 木村友昭, 山岡淳, 松本洸. 「癒し」評価スケールによる各種ストレス緩和法の評価. 日本応用心理学会 第 78 回大会, 23. 2011
 23. 内田誠也, 木村友昭, 新田和男, 菅野久信, 山岡淳. 「癒し」の心理生理学的研究. 生理心理学と精神生理学. 29(2), 106. 2011
 24. 内田誠也, 津田康民, 木村友昭, 山岡淳. 自覚ストレスと肩こりとの関連について. 日本応用心理学会第 77 回大会, 124. 2010
 25. 内田誠也, 津田康民, 木村友昭, 新田和男, 菅野久信, 山岡 淳. 肩の筋硬度計測によるストレスの評価に関する検討. 第 1 回日本心身医学 5 学会合同集会 プログラム・抄録集, 121. 2009
 26. 内田誠也, 津田康民, 木村友昭, 山岡淳, 菅野久信, 新田和男. 肩の筋硬度計測の生理心理学的研究 第一報. 第 27 回日本生理心理学会大会, 69. 2009
 27. 木村友昭, 津田康民, 内田誠也, 山岡 淳. PC 版 SF-8 の開発とその妥当性の検討. 日本応用心理学会 第 75 回大会発表論文集, 98. 2008
 28. 木村友昭, 山岡 淳. 日本語版自覚ストレス調査票の欠損値の検討. 日本応用心理学会 第 73 回大会発表論文集, 97. 2006
 29. 木村友昭, 山岡淳. 日本語版自覚ストレス調査票の短縮版作成の検討. 日本応用心理学会 第 72 回大会 発表論文集, 59. 2005
 30. 木村友昭, 山岡淳. ALS 患者の PAC 分析例. 日本応用心理学会 第 71 回大会 発表論文集, 42. 2004
 31. 木村友昭. パソコンを利用した自覚ストレス測定の試み. 日本公衆衛生雑誌 第 63 回日本公衆衛生学会総会, 775. 2004
 32. 木村友昭. 全人的医療のアウトカム評価に QOL 尺度が役立つか. 日本代替・相補・伝統医療連合会議 第 7 回 JACT 大会, 82. 2003
 33. 木村友昭. 「心の相談日」における PAC 分析例. 日本応用心理学会 第 70 回大会, 67. 2003
- 【本・一般雑誌等】
1. 内田誠也. 第 9 章健康と応用心理学：肩こりとリラクゼーション. 日本応用心理学ハンドブック, 446-447. 2022